

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属: 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ; 創立: 1985 年 3 月 27 日; RI 認証: 1985 年 6 月 3 日(No. 1665);

事務所: 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F; 電話: 059-383-7077; FAX: 059-383-8501;

E-Mail: info@rotary-suzuka-west.org; Web Site: http://www.rotary-suzuka-west.org/

例会場: 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール; 例会日: 火曜日; 例会食事: 12:00; 例会: 12:30-13:30; 会報発行担当: 川戸広樹

第 1534 回例会 2017 年 8 月 19 日 (土)

例会場: コンフェット鈴鹿平安閣

例会進行: 藤野恵子 S A A

開始 15:40 終了 16:40

点鐘: 会長 川岸光男

ソング: 君が代 奉仕の理想

ソングリーダー: 勇理維子副 S A A

ゲスト: 鈴鹿市長 末松則子様、地区ガバナー 田山雅敏様、パストガバナー 岡田信春様、四日市グループガバナー補佐 佐久間 紀様、地区大会実行委員長 松本正博様、鈴鹿・亀山グループ直前ガバナー補佐 青木啓文様、地区奉仕プロジェクト部門委員長 宮崎弘夫様、地区情報部門委員会副委員長 小牧智之様、地区グローバル補助金担当副委員長 阪田宣之様、地区米山奨学委員会副委員長 佐野 寿様、地区会員増強委員会委員 中村 薫様、地区ポリオプラス小委員会委員 長岡忠明様、地区青少年交換委員会委員 永戸 潤様、地区青少年育成小委員会委員 沖 俊成様、地区職業奉仕委員会委員 小林 充様、米山記念奨学生 張 丹丹様



ホストクラブ会長挨拶

川岸光男会長

鈴鹿・亀山地区の IM に大変お忙しい中、田山ガバナーにご出席を賜りました。心から御礼申し上げます。私どもは会員の皆さんに色々な場面でご参加いただこうと手作りの IM を計画しました。それぞれのクラブの活動がございますが、それらを参考にいろんな課題を大きな問題の柱として、本当にロータリーに入って良かったなと言えるようなロータリーになるよう、力を合わせて精一杯活動して参ります。本日はありがとうございました。



来賓・特別出席者紹介 河田勝正ガバナー補佐 市長挨拶 末松則子鈴鹿市長



出席報告

藤田充出席委員長

正会員 43 名中 43 名出席、出席率:100.00%

(全員登録)

先週の補正出席率:80.55%

先々週の補正出席率: 71.42%

ニコニコボックス報告 沖俊成親睦・家族委員

多額※

(順不同・敬称略)

※四日市グループガバナー補佐 佐久間 紀様



本日のプログラム:

「ガバナー公式訪問合同例会」

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー

田山雅敏様

…鈴鹿とのご縁があるというお話。…石薬師高校での出張卓話。鈴鹿医療科学大学の理事等々…。来年の RI 会長になられるウガンダのオオリさんがアメリカで治療されていたのですが、合併症を併発されて急遽亡くなられ、ウガンダで国葬されました。会長エレクトを早急に選ばなければということで、中米のハバナの方がなられるとお聞きしております。今月(8月)のロータリーの友で会長エレクトが空欄になっていましたので報告します。私は今年の1月にサンディエゴに、ガバナーになるために研修を受けました。そこで世界中からガバナーエレクトが来ます。520~530人が研修を受けます。毎日毎日テーマが変わって、その都度名刺交換します。男性の方に名刺を渡して「よろしくをお願いします」その男性の方は「付き添いで来ています。ガバナーはうちのワIFEです」とい

うケースが多々ありました。その時 100 人以上は女性でした。今年度世界の女性ガバナーは 2 割以上です。日本に 33 地区ありますが、女性ガバナーは 1 名です。青森の方です。今世界にロータリアンで女性の占める割合は女性ガバナーと大体同じ比率です。19%でもうすぐ 20%になります。我が日本は、或いは 2630 地区はどうでしょう。5%に行くか行かないか。今日本で女性社長の占める割合というのが 11%、89%が男性です。日本の女性の会員数が 5%で社長さんが 11%ならあと倍ぐらいにはなるでしょう。この会員増強が大きいと思います。先程のディスカッションで規定審議会で主婦がロータリーに入って云々というお話がありました。実はこれはフランスからの提案です。フランスの女性は仕事を持っている方がかなり多い。そういう方が福祉や介護など色んな事情である時期(1年~2年)をそちらに費やす。一時期仕事から離れる時期があります。その時に全く時間が無いわけではないので、ロータリークラブのような奉仕団体に参加して、社会との接点を持っていたい。そのような要望で入りたいという提案があり、それが認められた。これがまわり回って伝わって日本に帰ってくると、主婦もロータリーに入れるらしいということになっている。正確にはニュアンスが違うわけです。女性が就業で社会と接点を持っていたいというご本人の気持ちも強いでしょうし、仮に一時的に離職されたとしても、その間ロータリーの奉仕活動で社会との接点を持ちたいということです。その辺のニュアンスの違いがありますので、あまり短絡的にものを見ないで、それぞれの理由があるということをご理解いただきたいと思います。先程のサンディエゴの話ですが、私が驚いたのはアメリカのロータリアンのガバナーエレクトの人は結構シニアの人が多かった。



オーストラリアもそうです。若かったのはブラジルやアルゼンチン、またインドです。若い世代のガバナーエレクトが約 50 歳で日本の平均が 65 歳ですから 15 年ぐらいの差があります。私がロータリーに抱いていたイメージは、アメリカ中心に動いて仕切っているのかなと思ったら全然違って、世界中から色々な人が来てそれぞれワイワイやっっているなことを決めている。規定審議会は十数名の RI 理事が全世界を代表して日本からは 2 人出ています。世界の流れとしては規定審議会を受けて各クラブの自主性を尊重します。自主性でやって来た方が結果うまく行きましたという世界のデータを一〇年間くらい積み重ねて公表していますので、反論しにくいんです。例会数を月 3 回にする、4 回だけど 1 回は外でやる。入会金は取らない。若い会員・ジュニアの会員のために会費を少し安く設定する等色々な事を自由に出来るようになりました。5 クラブの会長・幹事さんにお話させていただいて、このグループは鈴鹿クラブ・シティクラブは人数が多い。西クラブの人数がちょっと少なく、小さいクラブが 2 つある。個々のクラブのご事情としてはかなり違う。鈴鹿クラブを見ていて良いクラブだと思いました。会長さんの話も素晴らしく、年齢構成もバランスが取れています。会員増強の考え方も非常に立派なお話で

した。一方人数の少ないクラブは会員増強は必須です。3 名の女性を増やす話でした。亀山クラブはもうちょっと……。クラブのご事情が違いますが、クラブの自主的な運営に任されたのを利用するかしないかは各クラブの考えです。何もする必要が無いというクラブは非常に少なく、75 クラブの内あっても 2 つ 3 つぐらいです。特に女性会員の獲得というのは、これからロータリーの大きなテーマになっていくと思います。我が国の女性の就業人口が長い間低かったが、就労者の絶対数の不足が明らかになっており女性自身の価値観が変わり、女性の就労する人がどんどん増えていく。結婚や出産を機に社会接点を断つことは少ないと思われるので、女性会員を獲得していかなければならないと感じております。地区目標として『変化するロータリーを考える』『クラブの刷新性と柔軟性を育てる』これからロータリーが 10 年後の話、今 65 歳の鈴鹿西ロータリークラブが 10 年後 75 歳になります。何もしなければこれは大変なこと、若い会員に入ってもらっても 65 歳を維持するのが厳しいかもしれません。毎年毎年 1 年歳をとっていきます。10 年後を考え、そこに中期計画、2 年後 3 年後の計画。42 人を例えば 50 人にしよう、40 代 50 代の方を入れようと言うようなことを具体的になっていく。そのためにはクラブに魅力がなければならぬ。そしてこの鈴鹿の地域の中でロータリーの存在意義を上げる。誰でも多少余裕ができれば少しは社会貢献したいと思うのは当然のことです。『RI 会長賞に挑戦』これは間違いなく「クラブ強化につながる」是非実施していただければ嬉しく思います。『財団の年次寄付を確実に増やす』『前年度対比 MIN. 5%増』と地区目標としています。それぞれのクラブによってご事情もあります。ゼロという方がいるといっぺんにダ

ウンします。なるべくそうならないように。今全国的には約 200 ドル、当地区では最低 150 ドルぐらいお願いします。(財団の年次寄付)『会員純増は 3%を目指す』3%は 30 人のクラブで 1 人増えるイメージ、100 人で 3 人です。『グローバル補助金にトライする』先程 IM のご説明がありました。他のグループで増えております。是非トライしていただきたい。そしてクラブ目標として RI 会長賞に挑戦していただきたい。「会員増強によるクラブの更なる活性化」このニュアンスはどのクラブの方にもご理解いただけると思っています。クラブの更なる活性化を目指すということを会員増強を通してお願いしたい。「地域への貢献の在り方」をもう一度考えて下さい。地域の人が喜ばないもの、地域にとってそれほど必要でないものは我々が一生懸命やっても一方通行である可能性があります。地域のニーズを理解することも大切です。「財団への寄付」会員の意識の向上。私は財団委員長は理事になって欲しい。半分ぐらいのクラブが財団委員長が理事です。常に話し合いの中に財団委員長がいてもらいたい。「10 年後のクラブは?」ということでクラブ運営を考えていただきたい。なんとなくその日その日を過ごしてしましますが、皆さん経営されている会社であれば、3 年後 5 年後をお考えだと思います。ロータリーも同じ。時の会長幹事という次元ではなく、みんなで考えて欲しい、そのための CLP です。全員が情報を共有して考えていく。「公共イメージと認知度をあげる」末松市長さんもお見えでロータリーの名誉会員でもいらっしゃる。ロータリーの宣伝を事あるごとにお話いただきたい。それにふさわしいことを我々はしなければなりません。今月のロータリーの友に高崎ロータリー(群馬県)、前の前の会長が私と同期のガバナーです。約 60 人が 100 人を超

えるクラブになりました。40 代 50 代を中心に、60 代には絶対ムリなネットワークがあります。そのヒントになる記事を是非読んでください。そこには楽しくなければダメだ。エンジョイロータリーです。奉仕活動をみんなで仲良く楽しくやりましょう。同好会があれば、釣りがあれば、ゴルフがあれば親睦をしていきましょう。会員増強の話最後にさせていただきます。会員増強委員会が一応一段落しました。クラブの大きさなどで分けて説明会をしました。会員増強どれくらい進んだか、11 月末で委員会が締めると思っています。各クラブの会長・幹事さんに三重県と岐阜県別れて、三重は 1 月 13 日会長幹事さん、会合をやります。2 年以内の新会員にもお集まりいただいて、既存会員の退会を阻止、若い会員にロータリーを更に理解してもらおう。100 人ぐらい集まります。ロータリー情報の委員の方も一緒に来て下さい。6 月 30 日の退会を極力少なくするための策を同時に考えましょう。地区大会は忍者の阿修羅というプロフェッショナルのアトラクション付きです。最後に各クラブの自主性が今試されます。地区はサポートしクラブの活性化に貢献したいと思います。

地区大会につて

松本正博地区大会実行委員長

